

決算短信補足資料

(2015年3月期 第2四半期決算)

2014年10月29日

西日本旅客鉄道株式会社

1.決算ハイライト

(単位:億円)

	2014年3月期 2Q累計実績	2015年3月期 2Q累計実績	対前年		2014年3月期 通期実績	2015年3月期通期		対前年		対予想 増減
			増減	比率(%)		前回(7/30) 予想	今回(10/29) 予想	増減	比率(%)	
			B-A	B/A		D	E	E-C	E/C	
A	B			C						
【連結】										
営業収益	6,421	6,515	+93	101.5	13,310	13,195	13,300	▲ 10	99.9	+105
営業利益	748	821	+73	109.8	1,345	1,175	1,240	▲ 105	92.1	+65
経常利益	615	724	+109	117.7	1,129	985	1,050	▲ 79	93.0	+65
四半期(当期)純利益	368	544	+175	147.6	656	585	655	▲ 1	99.8	+70
【単体】										
営業収益	4,335	4,407	+71	101.6	8,736	8,745	8,810	+73	100.8	+65
運輸収入	3,886	3,948	+62	101.6	7,806	7,815	7,880	+73	100.9	+65
営業費用	3,712	3,715	+3	100.1	7,718	7,795	7,795	+76	101.0	—
人件費	1,172	1,169	▲ 2	99.8	2,354	2,330	2,330	▲ 24	98.9	—
物件費	1,613	1,662	+49	103.1	3,516	3,690	3,690	+173	104.9	—
動力費	214	227	+12	105.9	431	465	465	+33	107.9	—
修繕費	599	620	+21	103.5	1,390	1,465	1,465	+74	105.4	—
業務費	799	815	+15	101.9	1,695	1,760	1,760	+64	103.8	—
減価償却費	628	611	▲ 16	97.4	1,293	1,270	1,270	▲ 23	98.2	—
営業利益	623	691	+68	111.0	1,017	950	1,015	▲ 2	99.7	+65
経常利益	496	575	+79	115.9	799	750	815	+15	101.9	+65
四半期(当期)純利益	304	390	+85	128.2	486	430	500	+13	102.7	+70

2.単体損益計算書

(単位:億円)

	2014年3月期 2Q累計実績 A	2015年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	4,335	4,407	+71	101.6
運輸収入	3,886	3,948	+62	101.6
その他収入	449	458	+8	102.0
営業費用	3,712	3,715	+3	100.1
人件費	1,172	1,169	▲ 2	99.8
物件費	1,613	1,662	+49	103.1
動力費	214	227	+12	105.9
修繕費	599	620	+21	103.5
業務費	799	815	+15	101.9
線路使用料等	118	92	▲ 26	77.5
租税公課	179	178	▲ 0	99.8
減価償却費	628	611	▲ 16	97.4
営業利益	623	691	+68	111.0
営業外損益	▲ 126	▲ 116	+10	91.5
営業外収益	15	15	▲ 0	—
営業外費用	142	131	▲ 10	—
経常利益	496	575	+79	115.9
特別損益	▲ 3	▲ 27	▲ 23	—
特別利益	30	37	+7	—
特別損失	33	64	+30	—
四半期純利益	304	390	+85	128.2

3.運輸収入の主な増減要因

(単位:億円)

		2015年3月期 2Q累計実績			
		運輸収入	対前年	主な増減要因	
新幹線	1,846	+34 (101.9%)	基礎トレンド(101.5%)	+27	
			特殊 要因	インターネット利用促進	+5
				シニアマーケット取り込み	+2
				USJ	+2
				インバウンド	+1
				曜日配列(3連休1回減)	▲ 6
	等				
在来線	近畿圏	+20 (101.4%)	基礎トレンド(101.0%)	+14	
			特殊 要因	インバウンド	+3
				大型商業施設	+3
				曜日配列(3連休1回減)	▲ 1
		等			
	その他	+7 (101.2%)	基礎トレンド(101.4%)	+8	
			特殊 要因	曜日配列(3連休1回減)	▲ 1
		等			
	在来線計		+27 (101.3%)		
運輸収入計		+62 (101.6%)			

※荷物収入は金額些少のため省略

4.運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入

(単位:億円)

輸送人キロ

(単位:百万人キロ)

	2Q累計実績(4/1~9/30)			2Q実績(7/1~9/30)		
	2014年 3月期	2015年 3月期	対前年	2014年 3月期	2015年 3月期	対前年
全社計	3,886	3,948	+62 101.6%	2,004	2,040	+35 101.8%
新幹線	1,811	1,846	+34 101.9%	944	962	+18 102.0%
定期	46	46	+0 100.0%	23	22	▲0 97.4%
定期外	1,764	1,799	+34 102.0%	920	939	+19 102.1%
在来線	2,074	2,102	+27 101.3%	1,060	1,077	+17 101.6%
定期	716	724	+7 101.0%	355	359	+4 101.1%
定期外	1,358	1,378	+20 101.5%	704	717	+13 101.9%
近畿圏	1,460	1,480	+20 101.4%	736	749	+13 101.8%
定期	578	584	+6 101.1%	287	291	+4 101.5%
定期外	881	896	+14 101.6%	449	457	+8 102.0%
その他	614	621	+7 101.2%	323	328	+4 101.4%
定期	138	139	+1 100.7%	68	68	▲0 99.8%
定期外	476	482	+6 101.3%	255	259	+4 101.8%

	2Q累計実績(4/1~9/30)			2Q実績(7/1~9/30)		
	2014年 3月期	2015年 3月期	対前年	2014年 3月期	2015年 3月期	対前年
全社計	27,941	28,027	+86 100.3%	14,275	14,343	+68 100.5%
新幹線	8,722	8,885	+163 101.9%	4,584	4,680	+96 102.1%
定期	380	371	▲8 97.6%	190	191	+1 100.9%
定期外	8,341	8,513	+172 102.1%	4,394	4,488	+94 102.2%
在来線	19,219	19,142	▲77 99.6%	9,691	9,663	▲28 99.7%
定期	11,760	11,551	▲208 98.2%	5,762	5,643	▲119 97.9%
定期外	7,458	7,590	+131 101.8%	3,928	4,020	+91 102.3%
近畿圏	14,565	14,519	▲46 99.7%	7,279	7,268	▲11 99.8%
定期	9,487	9,360	▲127 98.7%	4,659	4,587	▲72 98.5%
定期外	5,077	5,159	+81 101.6%	2,620	2,681	+60 102.3%
その他	4,653	4,622	▲31 99.3%	2,411	2,394	▲17 99.3%
定期	2,272	2,191	▲81 96.4%	1,103	1,055	▲47 95.7%
定期外	2,380	2,431	+50 102.1%	1,308	1,338	+30 102.3%

5.単体営業費用の主な増減要因

(単位:億円)

科目	2015年3月期 2Q累計実績		
		対前年	主な増減要因
人件費	1,169	▲ 2 (99.8%)	・退職手当減▲20 ・健康保険・厚生年金等保険料率変更+6 等
動力費	227	+12 (105.9%)	・燃料価格上昇・再エネ賦課金等増+13 等
修繕費	620	+21 (103.5%)	・工事単価上昇+13 ・北陸新幹線金沢開業準備経費+0 等
業務費	815	+15 (101.9%)	・会社間清算増+5 ・北陸新幹線金沢開業準備経費+4 ・システム関連経費増+3 等
線路使用料等	92	▲ 26 (77.5%)	・湖西線貸借期間終了▲27 等
租税公課	178	▲ 0 (99.8%)	
減価償却費	611	▲ 16 (97.4%)	・北陸新幹線金沢開業準備経費+3 ・償却進捗 等
営業費用計	3,715	+3 (100.1%)	

6.連結損益計算書

(単位:億円)

	2014年3月期 2Q累計実績 A	2015年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	6,421	6,515	+93	101.5
営業費用	5,673	5,693	+20	100.4
営業利益	748	821	+73	109.8
営業外損益	▲ 132	▲ 97	+35	73.2
営業外収益	15	37	+21	-
営業外費用	148	134	▲ 14	-
経常利益	615	724	+109	117.7
特別損益	▲ 5	31	+37	-
特別利益	33	109	+76	-
特別損失	39	77	+38	-
四半期純利益	368	544	+175	147.6
<i>四半期包括利益</i>	<i>383</i>	<i>555</i>	<i>+172</i>	<i>144.9</i>

7.セグメント情報

(単位:億円)

	2014年3月期 2Q累計実績 A	2015年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益*1	6,421	6,515	+93	101.5
運輸業	4,223	4,293	+69	101.7
流通業	1,168	1,113	▲ 55	95.3
物販・飲食	682	659	▲ 22	96.6
百貨店	438	411	▲ 27	93.8
不動産業	428	429	+1	100.3
ショッピングセンター	273	249	▲ 24	91.1
不動産賃貸・販売*3	146	171	+24	116.8
【分譲事業】	【9】	【27】		
その他	602	680	+78	113.0
ホテル	162	167	+5	103.3
旅行	183	195	+11	106.4
営業利益*2	748	821	+73	109.8
運輸業	571	631	+59	110.4
流通業	20	19	▲ 0	96.1
物販・飲食	24	27	+2	108.8
百貨店	▲ 6	▲ 9	▲ 3	-
不動産業	122	140	+18	114.8
ショッピングセンター	43	38	▲ 5	87.9
不動産賃貸・販売	33	50	+16	149.5
その他	25	22	▲ 2	89.5
ホテル	9	8	▲ 1	85.1
旅行	▲ 2	▲ 2	▲ 0	-

*1 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*2 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*3 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。

8.単体業績予想

(単位:億円)

	2014年3月期 通期実績 A	2015年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/30) 予想 B	今回(10/29) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	8,736	8,745	8,810	+73	100.8	+65
運輸収入	7,806	7,815	7,880	+73	100.9	+65
その他収入	930	930	930	▲ 0	100.0	—
営業費用	7,718	7,795	7,795	+76	101.0	—
人件費	2,354	2,330	2,330	▲ 24	98.9	—
物件費	3,516	3,690	3,690	+173	104.9	—
動力費	431	465	465	+33	107.9	—
修繕費	1,390	1,465	1,465	+74	105.4	—
業務費	1,695	1,760	1,760	+64	103.8	—
線路使用料等	236	185	185	▲ 51	78.3	—
租税公課	316	320	320	+3	101.0	—
減価償却費	1,293	1,270	1,270	▲ 23	98.2	—
営業利益	1,017	950	1,015	▲ 2	99.7	+65
営業外損益	▲ 217	▲ 200	▲ 200	+17	91.8	—
営業外収益	65	66	66	+0	—	—
営業外費用	283	266	266	▲ 17	—	—
経常利益	799	750	815	+15	101.9	+65
特別損益	12	▲ 85	▲ 85	▲ 97	—	—
特別利益	238	—	—	—	—	—
特別損失	226	—	—	—	—	—
当期純利益	486	430	500	+13	102.7	+70

※2015年3月14日に予定されている北陸新幹線運行開始に伴う開業後の収入・費用への影響は、本業績予想には織り込んでおりません。

9.運輸収入の見通し

(単位:億円)

	2014年3月期 通期実績 A	2015年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/30) 予想 B	今回(10/29) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
新幹線	3,644	3,659	3,686	+41	101.1	+26
在来線	近畿圏	2,921	2,946	+24	100.8	+24
	その他	1,239	1,247	+8	100.6	+13
	在来線計	4,161	4,155	4,193	+32	100.8
運輸収入計	7,806	7,815	7,880	+73	100.9	+65

※荷物収入は金額些少のため省略

10.単体営業費用の見通し

(単位:億円)

科目	2015年3月期 通期見通し			
		対前年	主な対前年増減要因	対前回
人件費	2,330	▲ 24 (98.9%)	・退職手当減 ・健康保険・厚生年金等保険料率変更 等	—
動力費	465	+33 (107.9%)	・北陸新幹線金沢開業準備経費 ・燃料価格上昇・再エネ賦課金等増 等	—
修繕費	1,465	+74 (105.4%)	・北陸新幹線金沢開業準備経費 ・工事単価上昇 ・フリーゲージトレイン試験費増 等	—
業務費	1,760	+64 (103.8%)	・北陸新幹線金沢開業準備経費 ・システム関連経費増 ・燃料価格上昇・再エネ賦課金等増 等	—
線路使用料等	185	▲ 51 (78.3%)	・湖西線貸借期間終了 等	—
租税公課	320	+3 (101.0%)	・不動産取得税 等	—
減価償却費	1,270	▲ 23 (98.2%)	・北陸新幹線金沢開業準備経費 ・償却進捗 等	—
営業費用計	7,795	+76 (101.0%)		—

11.連結業績予想

(単位:億円)

	2014年3月期 通期実績 A	2015年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/30) 予想 B	今回(10/29) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	13,310	13,195	13,300	▲ 10	99.9	+105
営業費用	11,964	12,020	12,060	+95	100.8	+40
営業利益	1,345	1,175	1,240	▲ 105	92.1	+65
営業外損益	▲ 216	▲ 190	▲ 190	+26	87.8	—
営業外収益	77	81	81	+3	—	—
営業外費用	294	271	271	▲ 23	—	—
経常利益	1,129	985	1,050	▲ 79	93.0	+65
特別損益	▲ 12	▲ 90	▲ 90	▲ 77	—	—
特別利益	263	—	—	—	—	—
特別損失	276	—	—	—	—	—
当期純利益	656	585	655	▲ 1	99.8	+70
1株当たり当期純利益(円)	338.98	302.16	338.32	—	—	—

12.連結業績予想(セグメント別)

(単位:億円)

	2014年3月期 通期実績 A	2015年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/30) 予想 B	今回(10/29) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益*1	13,310	13,195	13,300	▲ 10	99.9	+105
運輸業	8,513	8,528	8,593	+79	100.9	+65
流通業	2,401	2,143	2,143	▲ 258	89.2	—
物販・飲食	1,351	1,298	1,298	▲ 53	96.0	—
百貨店	945	760	760	▲ 185	80.4	—
不動産業	1,022	892	892	▲ 130	87.2	—
ショッピングセンター	535	500	500	▲ 35	93.4	—
不動産賃貸・販売*3	471	375	375	▲ 96	79.6	—
【分譲事業】	【191】	【81】	【81】			
その他	1,371	1,632	1,672	+300	121.9	+40
ホテル	334	341	341	+6	102.0	—
旅行	415	418	418	+2	100.6	—
営業利益*2	1,345	1,175	1,240	▲ 105	92.1	+65
運輸業	910	838	903	▲ 7	99.2	+65
流通業	44	10	10	▲ 34	22.6	—
不動産業	277	237	237	▲ 40	85.3	—
その他	118	95	95	▲ 23	80.1	—

*1 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。

内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*2 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*3 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。

13.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位:億円)

	2014年3月期 期末 A	2015年3月期 2Q期末 B	増減 B-A
資産	26,878	26,955	+76
負債	18,805	18,568	▲237
純資産	8,073	8,387	+313
長期債務残高	9,807	9,760	▲47
【長期債務平均金利(%)】	【2.63】	【2.57】	【▲0.06】
新幹線債務	2,051	1,894	▲157
【新幹線債務平均金利(%)】	【5.85】	【5.92】	【+0.07】
社債	4,599	4,699	+100
【社債平均金利(%)】	【2.08】	【2.07】	【▲0.01】
自己資本比率	29.2	29.5	+0.3
1株当たり純資産(円)	4,048.31	4,107.65	+59.34

	2014年3月期 2Q累計実績 A	2015年3月期 2Q累計実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	696	617	▲78
投資活動によるキャッシュフロー	▲602	▲779	▲176
フリーキャッシュフロー	93	▲161	▲255
財務活動によるキャッシュフロー	▲132	▲101	+30
現金及び現金同等物の増減	▲38	▲263	▲224
現金及び現金同等物の期末残高	445	466	+20

14. 諸元表

(単位: 人、億円)

	2014年3月期 2Q累計実績	2015年3月期 2Q累計実績	2014年3月期 通期実績	2015年3月期 通期予想(10/29)
連結ROA (%)	2.9	3.1	5.1	4.5
連結ROE (%)	4.9	6.9	8.6	8.3
連結EBITDA*1	1,498	1,544	2,884	2,760
連結減価償却費	750	722	1,539	1,520
連結設備投資(自己資金)	462	737	1,667	2,240
単体設備投資(自己資金)	373	583	1,445	1,880
安全関連投資	240	224	893	900
1株当たり配当金(円)	55	60	115	120

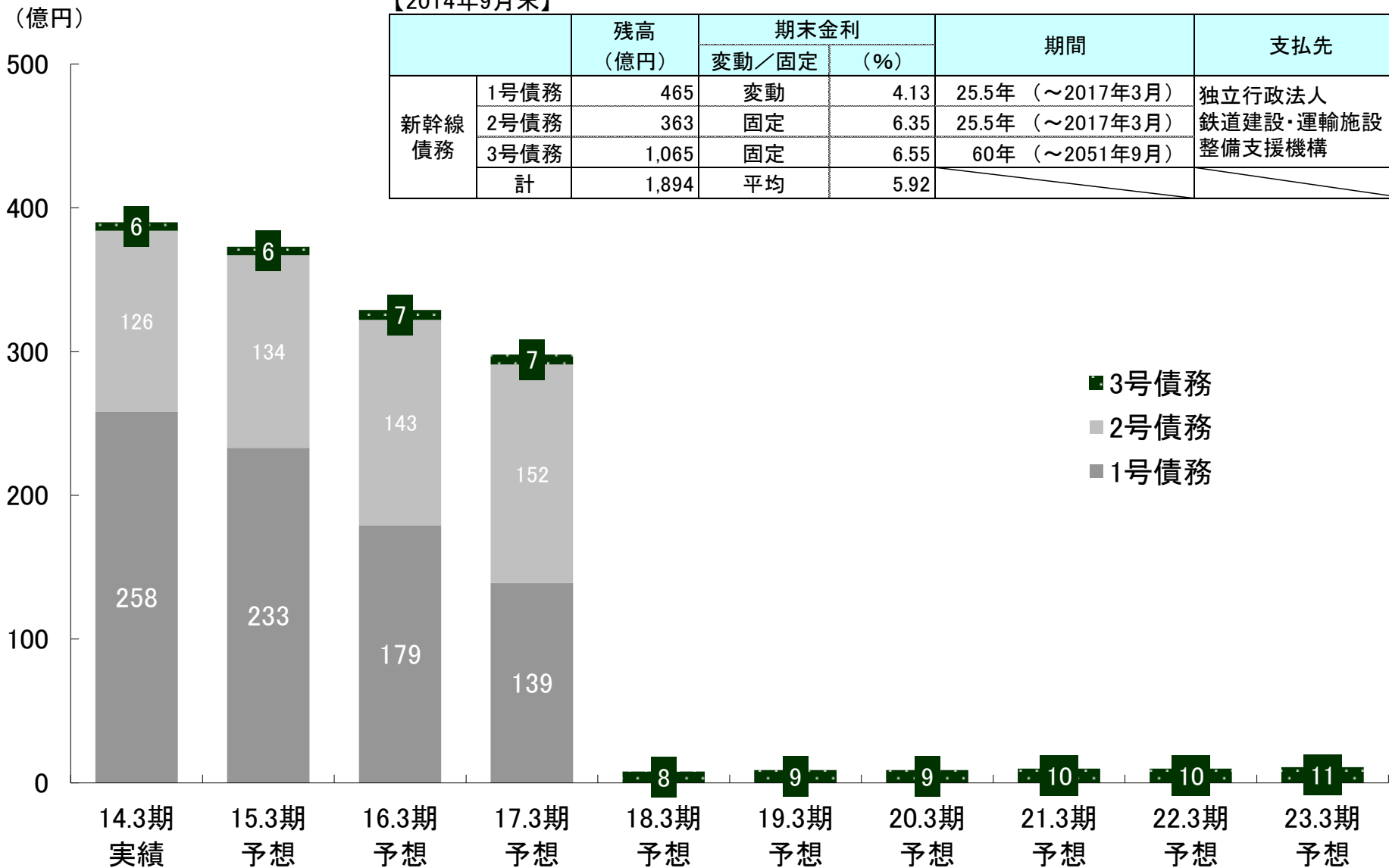
*1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

	2014年3月期 2Q累計実績		2015年3月期 2Q累計実績		2014年3月期 通期実績		2015年3月期 通期予想(10/29)	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数(就業人員)	46,127	27,370	48,203	27,362	46,006	27,300	-	-
金融収支	▲ 138	▲ 131	▲ 125	▲ 121	▲ 275	▲ 263	▲ 255	▲ 245
受取利息・配当金	3	9	5	9	5	14	5	14
支払利息	141	140	130	130	280	278	260	260

15.新幹線債務償還計画

【2014年9月末】

		残高 (億円)	期末金利		期間	支払先
			変動/固定	(%)		
新幹線 債務	1号債務	465	変動	4.13	25.5年 (～2017年3月)	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設 整備支援機構
	2号債務	363	固定	6.35	25.5年 (～2017年3月)	
	3号債務	1,065	固定	6.55	60年 (～2051年9月)	
	計	1,894	平均	5.92		



将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2014年10月29日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2014年10月29日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <http://www.westjr.co.jp/company/ir/>